

## 各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会

時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫

両団体理事長 半 田 晴 久

環境技術委員長 坂 本 忠 彦

両団体専務理事 清 原 淳 平

## 環境技術委員会のお知らせ(第360回)

日 時 令和元年7月24日(水)午後1時半～4時

場 所 衆議院第一議員会館 地下1階 第6会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第6会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議 題 1、「環境問題について、昨今、想うこと」

挨拶 坂本忠彦環境技術委員長

2、米国からの大量輸入要請に対する日本畜産業の努力

—— 畜舎の環境衛生・健全育成のための機器・装置 ——

解説 執行秀彦(オーレック商品企画部課長)

3、『環境技術関連ニュースNO.181』

解説 中島稔科学技術部会長

報 告 去る6月19日開催の第359回環境技術委員会は、科学技術部会として、中島稔部会長が議長を務め行われました。まず、中島部会長より開会挨拶がありました。ここ20年、日本の経済は弱体化している。昨年のGDP伸び率は0.9%で先進国最下位。平均給与所得は25年前から100万円下がった。原因は、労働生産性の低下と科学技術の弱体化で、企業の責任も大きい。新しいビジネスモデルを構築する発想力が弱く、AIも米中に大きく後れを取るなど、テクノロジーの活用もできていない。科学技術力が向上すれば、日本の国力も上

がるものと期待している。

次に、坂本委員長より挨拶がありました。大学が独立行政法人化したことにより、公務員の身分のままでは大学で教鞭をとることはできなくなった。また、大学教授のポストも公募になり、研究所で働いていても身分保障がないと不安を抱いている研究者も多い。このような環境を何とか是正できないものか。

次に、清原淳平専務理事より、文部科学省研究振興局原克彦振興企画課長の経歴紹介がありました。次に、原課長より、『研究力向上改革2019—我が国の研究力の国際的地位をV字回復させるために—』について解説がありました。我が国の研究力は、論文の質の国際的地位の低下、国際共著論文の低下という問題を抱えている。それには、若手研究者の雇用の安定による人材の確保、資金的援助、環境の整備の三本柱を大学と一体となって改革していくことが必要となる。具体的には、①若手研究者の任期を5年以上の長期化することにより、研究希望者を増やす。②併せて、専従化することにより、煩雑化する事務作業から解放し、研究に集中できる環境をつくる。③競争的資金を、有望な若手研究者に優先的に配分する。④研究室の枠を超えた研究設備の充実。⑤人材流動化の推進。といった施策によって、研究力の向上を図っていく。

次に、中島稔科学技術部会長より、『環境技術関連ニュース No.180』の解説がありました。今回は、○地球の海面上昇、温室効果ガスの排出がこのまま続けば2100年には2mに達するとの予測。○改正フロン排出抑制法が成立。回収しない場合即罰則。○G20でも温暖化対策は話し合われる予定。CO2の再利用が目玉になりそうだが、水素や触媒のコスト減が進んでおらず、果たして技術革新はうまくいくのか不透明な部分も。そのため日本政府の長期戦略からも石炭火力全廃は明言できず、原子力に頼らざるを得ないとの指摘もある。○G20環境大臣会合では、海洋プラスチックごみの削減国際枠組に各国が合意できるかが焦点。○米中貿易戦争の鍵を握るのはレアアース? 8割を中国に依存しているだけに切り札になる可能性。○東京都内で大雨が降った場合の浸水リアルタイム予測システムの開発。などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費千円にご協力をお願い申し上げます。

次回、7月24日(水)の環境技術委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様のFAX \_\_\_\_\_

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(その際の当日会費は二千円となります。)

事務局宛FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール [shigeta@jdaisasshin.jp](mailto:shigeta@jdaisasshin.jp)